

## 平成19年度コミュニティIT・タウン推進モデル事業の選定について

「新おかやまIT戦略プログラム」(平成19年1月策定)に掲げているコミュニティIT・タウン構想の具体化を図るため、本年度のコミュニティIT・タウン推進モデル事業について、次の2事業を選定した。

事業主体	事業名及び事業内容
新見市	<p>「防災管理システム構築事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①新見市防災デジタルマップ(GIS)の構築</li> <li>②カメラやセンサーを活用した水位等の自動計測及び自動配信</li> <li>③地震波検知による職員一斉招集及び告知放送端末への放送</li> <li>④ケーブルテレビのコミュニティチャンネルとGISの連動</li> <li>⑤地域ボランティアへの一斉情報提供</li> <li>⑥地域ボランティアから寄せられる情報の収集</li> </ul>
矢掛町	<p>「安心あったかコミュニケーションシステム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①テレビ電話(タッチパネル付)を活用した独居老人の安否確認及び日々のコミュニケーションの確保</li> <li>②センサーを活用した独居老人の安否確認</li> <li>③ペンダント型非常通報機器を活用した緊急通報システムの構築</li> <li>④近所サポーター、家族、行政(一部事業者委託)等の連携協力による地域見守りネットワークを構築</li> </ul>

### <参考>コミュニティIT・タウン構想

～地域による、地域のためのITを、地域から～

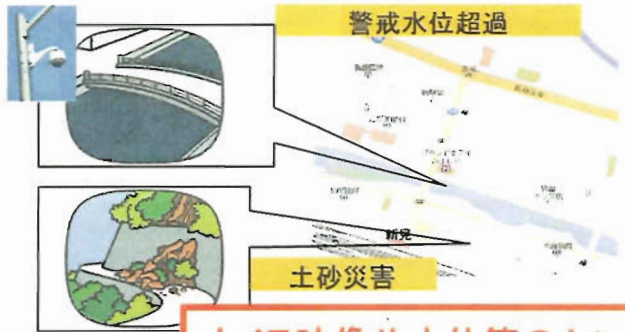
「誰もがITを身近に実感できるようにするため、個人としての利活用だけでなく、地域に根ざした情報化を進める観点から、地域で抱える課題をコミュニティの中で解決するために利活用が進められることが求められています。地域のニーズに合ったITの利活用を通じて、その便利さだけでなく、地域の振興等に向けた有用性等を実証し、地域に役立つITの浸透を図ることにより、地域に根ざした情報化を全県的に進めます。」(新おかやまIT戦略プログラムより抜粋)

# 新見市防災管理システム構築事業

～地域と協働してつくる安全・安心なまちづくり～

河川水位、土砂崩れ、地震に対する監視等に重点を置いた情報基盤の構築

## ▼新見市防災デジタルマップ (GIS)の構築



カメラ映像や水位等のセンサー情報を自動計測・自動配信

## ▼地震波検知システムの整備



## きめ細かな情報提供

インターネット、携帯電話、そしてケーブルテレビへ情報を同時配信



ケーブルテレビのコミュニティチャンネルとGISの連動



CATVによる情報提供



告知放送端末による音声での情報提供

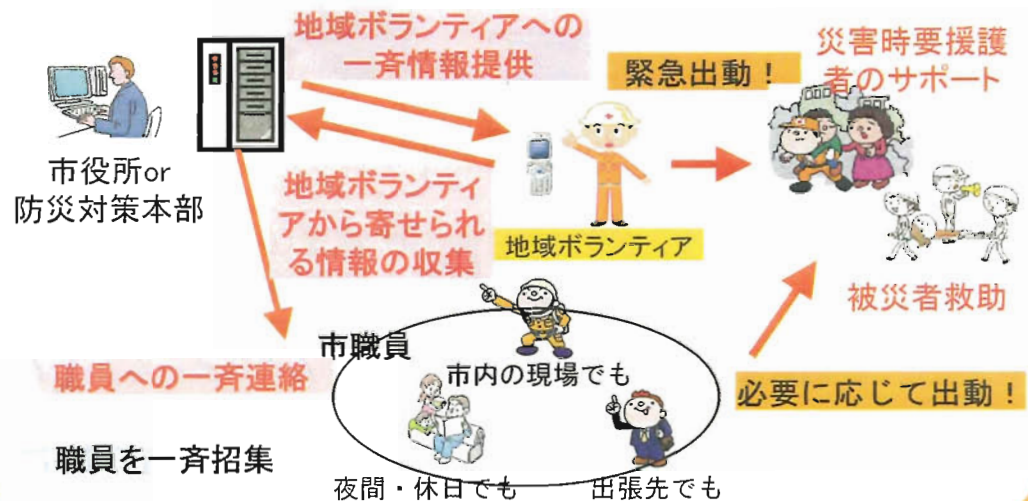


インターネットで閲覧可能



携帯電話でも閲覧可能

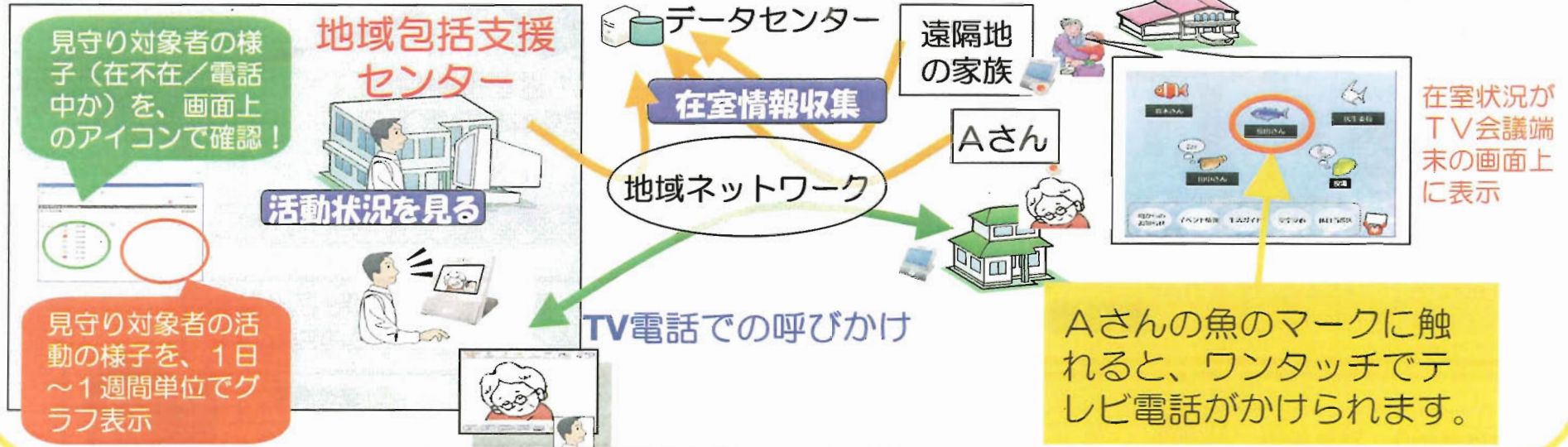
## 迅速で効率的な情報伝達





# 矢掛町安心あったかコミュニケーションシステム

## 【平常時のコミュニケーション】 データセンターに見守り対象者の在室状況を蓄積



## 【緊急通報】

